

◆ はじめて学ぶ世界遺産50<第4版> 世界遺産検定4級公式テキスト

ページ数	英語で説明しよう<和訳>
015	<p>世界遺産とは、「顕著な普遍的価値」をもつ建造物や遺跡、景観、自然などのこと。世界遺産条約では、そうした文化遺産や自然遺産を、人類共通の財産として保護し、次の世代に受け継いでゆくことを目的としている。</p> <p>世界遺産条約は、国連専門機関であるユネスコで採択された。ユネスコ憲章の前文には次のような一節があり、世界平和に貢献するというユネスコの理念をよく表している。</p> <p>「戦争は人の心の中に生まれるものだから、人の心の中にこそ、平和のとりでを築かなければならない」</p>
021	<p>知床</p> <p>知床の自然と生態系は変化に富んでいる。そこには、海から始まり、川を通じて陸へと移っていく食物連鎖がある。</p>
025	<p>北海道・北東北の縄文遺跡群</p> <p>1万年以上続いた縄文時代に、北海道や北東北の地域では、紀元前1万3000年から前400年頃までの間に狩りや漁、木の実の採集などをしながら定住生活を送りました。</p>
029	<p>白神山地</p> <p>白神山地には、8,000年以上の歴史をもつブナの原生林がある。そこには多くの希少な動植物が生息している。</p>
033	<p>平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—</p> <p>藤原氏は平和な世の中を望み、平泉に極楽浄土を表す寺院や庭園をつくった。</p>
037	<p>日光の社寺</p> <p>日光は、神道と仏教を融合させた(神仏習合)霊場である。そこには、徳川家康をまつる神社である東照宮を含む豪華絢爛な建造物群がある。</p>
041	<p>富岡製糸場と絹産業遺産群</p> <p>富岡製糸場は、明治政府がつくった官営の工場であった。そこで生産された品質の高い生糸は世界中の国々に輸出された。</p>
045	<p>ル・コルビュジエの建築作品：近代建築運動への顕著な貢献</p> <p>ル・コルビュジエは近代建築の新しい概念を示した。この遺産は7カ国にある17資産で構成されており、そのうちのひとつが東京、上野公園にある国立西洋美術館である。</p>
049	<p>小笠原諸島</p> <p>日本の首都東京に属する小笠原諸島には、独自の進化をとげた固有種の植物や動物が多く存在する。</p>
053	<p>富士山—信仰の対象と芸術の源泉</p> <p>富士山は日本の最高峰であり、古くから神聖な山として崇拝されてきた。その景色の美しさは、多くの絵画や文学のなかで描かれてきた。</p>
057	<p>白川郷・五箇山の合掌造り集落</p> <p>白川郷と五箇山の集落には、合掌造りという独特の住居がある。この建築様式はこの山間部の伝統的な暮らしから生まれたものである。</p>
061	<p>古都京都の文化財</p> <p>京都は1,000年以上にわたり日本の文化の中心地であった。今も残る神社や寺、城は、それぞれの時代の文化や建築様式を示している。</p>
065	<p>古都奈良の文化財</p> <p>平城京は、8世紀の日本の首都であった。そこでは、中国の唐や西アジアの影響を受けて、天平文化として知られる国際的な文化が発展した。</p>
069	<p>法隆寺地域の仏教建造物群</p> <p>聖徳太子として知られる厩戸王ゆかりの法隆寺と法起寺は、現存する世界最古の木造建造物である。それらは、日本とユーラシア大陸との交流の証拠である。</p>
073	<p>紀伊山地の霊場と参詣道</p> <p>紀伊山地には、日本固有の神仏習合を示す寺社を含む3つの霊場がある。これらの建造物と周囲の自然は、1,000年以上にわたり守られてきた。</p>
077	<p>百舌鳥・古市古墳群</p> <p>大阪平野よりも高い台地の上に、日本古代の社会体制を証明するさまざまなタイプの古墳があります。仁徳天皇の墓は、日本で最も大きな古墳です。</p>
081	<p>姫路城</p> <p>姫路城は、素晴らしい木造建築で有名な城である。この城はまた、美しい白い漆喰の壁により、白鷺城として知られている。</p>
085	<p>石見銀山遺跡とその文化的景観</p> <p>石見銀山で産出された銀は、16~17世紀に東アジアとヨーロッパとの交易に使われた。銀鉱山の遺構と周囲の自然は独特の景観を示している。</p>

089	広島平和記念碑(原爆ドーム)
	原爆ドームは、 原子爆弾の悲惨さ と戦争の愚かさを思い出させるものである。このモニュメントは、核兵器の廃絶と恒久平和を世界に訴えている。
093	厳島神社
	厳島神社は、弥山と瀬戸内海の間に位置し、それらと調和している。それは 日本人の信仰 と美意識を表す場所である。
097	『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群
	4世紀後半から約500年間、沖ノ島では人々が航海の安全を祈る 祭祀を行っていた 。九州本土の宗像大社は宗像三女神をまつり崇拝している。
101	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
	17世紀から19世紀にかけてキリスト教信仰は日本では禁じられていた。しかしながら、長崎と天草地方を中心に、ひそかに信仰を続ける「 潜伏キリシタン 」と呼ばれる人々がいた。
105	明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業
	明治日本の産業革命遺産は、8県にある23資産で構成されている。これらの資産には、 急速な日本の近代化 を支えた製鉄や石炭産業、造船の施設や建築遺構が含まれている。
109	屋久島
	屋久島は九州で最も高い宮之浦岳を含む1,000m級の山々が特徴的である。そこでは、気候と気温が異なる高度で変化するため、 さまざまな種類の植物 を見ることができる。
113	奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
	琉球列島にある奄美大島と徳之島、沖縄島、西表島では、ヤンバルクイナやアマミノクロウサギなど 独自の進化を遂げた 、絶滅危惧種を含む多様な生物が生息しています。
117	琉球王国のグスク及び関連遺産群
	グスク跡には、按司として知られた 琉球王国 の豪族によって建てられた、さまざまな城塞の廃墟がある。それらは、自然と先祖を崇拝する琉球独自の文化を示している。